

海外安全対策情報
2023年4月～6月

在オークランド総領事館

1 治安情勢・一般犯罪の傾向

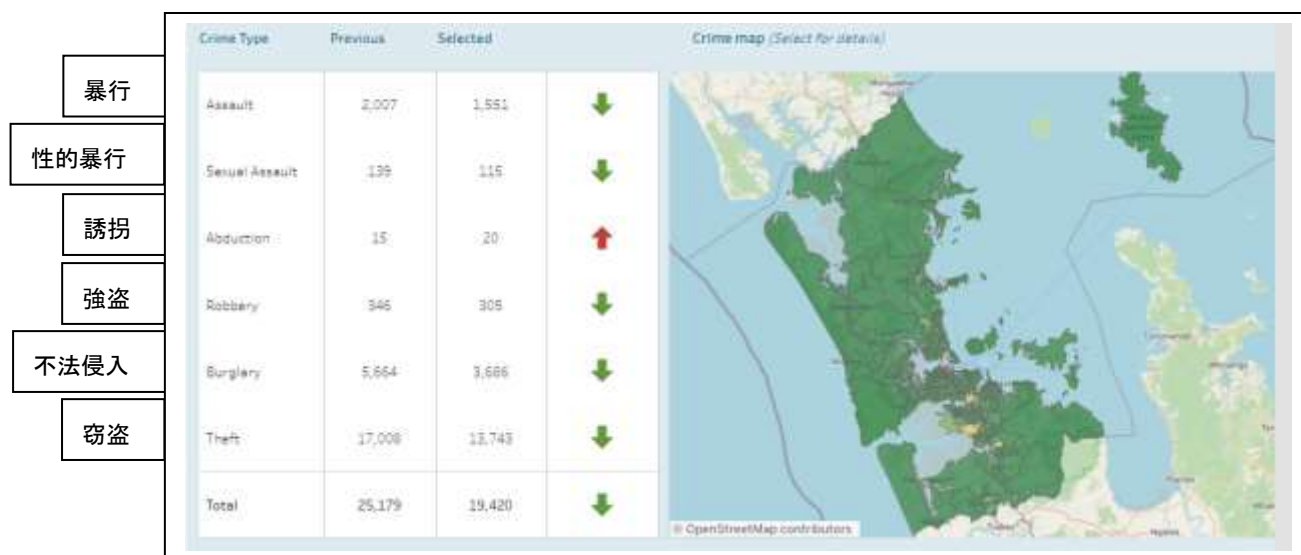
(1) 一般治安関係

NZでは、強盗（店舗に自動車で突っ込み強奪する「ラムレイド」を含む）や侵入窃盗（空き巣など）、車上ねらいや繁華街での暴行事件が多く発生しているため、防犯対策には十分な注意が必要です。また、犯罪組織（いわゆるギャング）の抗争もしばしば勃発しており、これらに巻き込まれることのないよう、繁華街等では特に注意してください。また、電話等でお金を騙し取る特殊詐欺が多発していることから、不審な電話等には十分に注意してください。このほか、NZ国内では覚醒剤（メタンフェタミン）等の薬物組織犯罪が社会問題化していますので、留意してください。

(2) オークランドの犯罪傾向

2023年4月～2023年6月のオークランド市の犯罪傾向についてオークランド警察は次の通り発表しています。

注：表の中の Previous と記された件数は、昨年同時期の事件件数です。



(3) 最近の犯罪等

詳細はニュージーランド警察 HP をご覧ください。

<https://www.police.govt.nz/news/districts>

ア 薬物犯罪

- 4月12日、オークランド北西部でギャングメンバーの家宅捜索が実施され、爆発物、弾薬、大麻、セキュリティカードの偽造機械が押収され、2人の男が逮捕された。
- 5月17日、オークランド市内で10件の家宅捜索が実施され、メタンフェタミン、MDMA、エフェドリン等、計220キロの薬物輸入、銃5丁所持、マネーロンダリングの容疑で3人の男が逮捕された。

イ サイバー犯罪

- 4月5日、NZ警察は、FBI、オランダ警察、Europolと協力し、偽のデジタル身分証明書を販売する国際的犯罪促進間サイトのジェネシス・マーケット撲滅に貢献した。同サイトでは、Cookies、保存済みのログイン情報や自動入力される情報を感染したデバイスから盗む手口で、世界で200万人以上の個人情報が発売されていた。オークランド市金融犯罪部門、全国規模のサイバー犯罪部門等による家宅捜査が行われ、1人の男が逮捕された。
- 6月11日、NZ警察になりすました詐欺事件が発生した。NZ警察からメッセージを受け取ったら、内務省 (<https://www.dia.govt.nz/Digital-Safety>) へ通報するようにと注意喚起を行った。



ウ 一般犯罪

- 5月16日、オークランド市の高速道路で、あおり運転による発砲事件が発生し、後日2人の男が逮捕された。
- 6月1日、ノースランド地方カイコヘにおいて、性的暴行により71歳の女性が殺されその後1人の男が逮捕された。

エ 邦人が巻き込まれた事件・事故
特になし。

(4) 防犯のための具体的注意事項

当館 HP の「安全の手引き」に掲載しておりますので、以下 URL をご覧ください。

https://www.auckland.nz.emb-japan.go.jp/itpr_ja/anzen_aucklandanzen.html

2 テロ・爆弾事件発生状況

NZ 政府は、国家テロ脅威度を 5 段階で示しているところ、2023 年 6 月末日現在の脅威度は「低い」（5 段階中の下から 2 番目、テロ攻撃は現実的な可能性がある）となっています。

Likelihood assessment	Threat level
Terrorist attack is expected	EXTREME
Terrorist attack is assessed as highly likely	HIGH
Terrorist attack is assessed as feasible and could well occur	MEDIUM
Terrorist attack is assessed as a realistic possibility	LOW
Terrorist attack is assessed as unlikely	VERY LOW

最近では、ニュージーランドではテロ事件は発生しておりません。ただし、過去には以下のようなテロ事件が発生しておりますので、日頃から特に人の集まる場所におけるテロの可能性については警戒が必要です。

ア クライストチャーチのモスク 2 か所に対する銃撃事件

2019 年 3 月、クライストチャーチに所在する 2 か所のモスクにおいて、銃撃事件が発生し、51 人が死亡し、数十人が負傷しました。実行犯として逮捕された豪州国籍の男は、白人至上主義を主張する過激思想の持ち主で、逮捕時に軍用半自動小銃等を所持していました。事件後、NZ 政府は銃規制を強化するなどテロ防止に向けた対策を推進していますが、国内には依然として多くの猟銃等が流通しており、引き続き、警戒が必要です。

イ オークランドのスーパーマーケット内における刃物使用襲撃事件

２０２１年８月、オークランド郊外に所在するスーパーマーケット内において、刃物使用数人事件が発生し、８人が負傷しました。実行犯はその場で警察に射殺されました。犯人はスリランカ難民で、ＩＳＩＬの過激思想を支持しているとして２０１６年から当局の監視下にあったとされています。

３ 日本企業の安全に関する諸問題

特に認知されておりません。

以上